

平成27年度 第1回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

平成27年5月25日（月）午後2時57分から午後4時9分まで
大洲市役所別館3階第1会議室

2 出席した構成員

大洲市長		清水	裕
大洲市教育委員会 委員長		叶本	正
大洲市教育委員会 委員長職務代理者		西山	千春
大洲市教育委員会 委員		山内	光郎
大洲市教育委員会 委員		東山	宏
大洲市教育委員会 教育長		二宮	隆久

3 会議に出席した職員

（教育委員会事務局）

（市長部局）

教育部長	松本一繁	市民福祉部長	岡村清利
教育総務課長	藤田修	子育て支援課長	篠原雅人
教育総務課学校教育指導監	松井康之	（事務局）	
生涯学習課長	森岡照久	総合政策部長	神元崇
文化スポーツ課長	森野啓二	企画政策課長	栗田浩治
学校給食センター所長	亀井要和	企画政策課政策推進室長	藤原貴
教育総務課長補佐	久保明敬	企画政策課政策推進室専門員	往田秀樹

4 傍聴者の数

2人

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 大洲市総合教育会議の運営について
- (2) 大綱策定の基本的な考え方について
- (3) 緊急時における対応について
- (4) 今年度の主要施策について
- (5) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
清水市長	<p>3 議題</p> <p>(1) 大洲市総合教育会議の運営について</p> <p>それでは、私のほうで議事を進めさせていただきますので、円滑な議事進行ができますようにご協力をお願いいたします。お手元に配布しております議事次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>まず、最初に「1 大洲市総合教育会議の運営について」を議題とさせていただきます。事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 企画政策課長〕</p>
清水市長	<p>それでは、只今議題1につきまして説明がございました。どなたかご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>〔意見なし〕</p>
清水市長	<p>それでは、特にないようではありますが、会議資料にございますように「会議については、年2回の開催を基本として必要に応じ随時開催する」ことを考えておりますが、このように決定させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>〔異議なしの声あり〕</p>
清水市長	<p>それでは、原案のとおり運営をさせていただきます。</p>
清水市長	<p>(2) 大綱策定の基本的な考え方について</p> <p>次に「2 大綱策定の基本的な考え方について」を議題といたします。それでは、この内容につきましては、事前に教育委員会におきましてご協議いただいているようでありますので、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 教育総務課長〕</p>
清水市長	<p>ありがとうございます。大綱策定の基本的な考え方につきまして只今説明がございました。それでは、どなたかご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。</p> <p>〔意見なし〕</p>
清水市長	<p>それでは、特に意見がないようでございますので、只今説明を行いま</p>

清水市長	<p>した基本的な考え方のもとで、教育委員会と市長部局の事務局がそれぞれ調整を図りながら次回の会議で策定することを目標といたしまして進めさせていただくことでよろしいでしょうか。</p> <p>〔異議なしの声あり〕</p> <p>それでは、次回策定ということを目指して協議を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
清水市長	<p>(3) 緊急時における対応について</p> <p>次に「3 緊急時における対応について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 企画政策課長〕</p> <p>ありがとうございました。只今、緊急時における対応について説明がございました。何か、ご意見、ご質問は、ございませんでしょうか。</p> <p>8 ページの大洲市総合教育会議の下に「必要に応じ」とあるのですが、「必要に応じ」というのは、どのあたりの線引きのことをお考えですか。</p> <p>状況に応じてということですが、今、そういった状況にはないと思っています。以前も大阪市でいろいろな問題がございましたが、そういった場合の対応とか市長がどうしても判断した場合には会を開かせていただくようになると思います。</p> <p>緊急時の対応は、時間の問題がありますから基本的には会議ではなく、現場で最善と思われる対応を取っていただく必要があると思っています。ただ、その後、いろいろな全体の仕組みがありますので、そういう仕組みが適正に働いているかどうか、そういうものに疑問があるときにはこういう会議の場で諮るということになろうかと思っています。基本的には緊急時の対応は現場でやっていただき、その状況をそれぞれ後で報告していただく。そういう中で、どうしても様々な課題があり、開かなければならないと思ったときには、開かせていただきます。</p> <p>大洲市総合教育会議があることによって教育委員会と市長部局との連携がますます深まり、市民の方々の安心にもつながっていくと思うので、良い方向に進めていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。ぜひそういう方向に向かうように、ピーアー</p>
清水市長	

<p>清水市長</p> <p>清水市長</p>	<p>ルをしていただくことも重要ではないかと思えます。市長部局からもピーアールをしていきますので、教育委員会からもお願いしたいと思えます。</p> <p>他にございませんか。 〔意見なし〕</p> <p>それでは、特に無いようでございますので、こういう形で進めさせていただきたいと思えます。</p>
<p>清水市長</p> <p>清水市長</p> <p>清水市長</p>	<p>(4) 今年度の主要施策について 次に、「4 今年度の主要施策について」を議題とします。主要施策を所管する所属長より説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 教育委員会事務局各所属長・子育て支援課長〕</p> <p>ありがとうございました。それでは、只今説明がありました、今年度の主要施策について何かご意見、ご質問があれば、お受けしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>今までの行政はどちらかという、県や国のシステムの中で一方的にサービスを提供し、それを受ける側の立場になっていない面があったのではないかと考えています。幼稚園、保育所はそうだったと思います。</p> <p>これからは、自分達もサービス業であるということを念頭に、サービスを受ける側の立場になって、できるだけワンストップでサービスが受けられるように、「同じような目的で同じ対象に対しては同じ所が対応をしていく」、それが基本ではないかと考えております。その時には、教育委員会と市長部局で事務調整しなければならない様々な話がこれから出てくると思えます。今説明のあった学童保育や幼保もそうであり、学校の統廃合に伴い閉校した所についても、地域の人にとっては教育委員会か市長部局かは関係ないのであって、その場所が活力をもって地域の中で存続することが一番大事であると思えます。そういうものが1つの所管になるように仕事のやり方を変えなければならないと思っております。</p> <p>それから、これは急にできる話ではないのですが、そういうサービスを受ける側の立場になれば、子どもの教育で学級の中の子ども的人数が少なくなれば、子どもにとっては、先生の配分が増えることとなります。子どもが10人のクラスと20人のクラスで言えば、子ども1人に対する先生の割合は、10人のクラスの方が多はずです。もちろん複式学</p>

	<p>級になると教え方が違いますので大変ですが、子どもの少ないクラスでのメリット、子どもを教えることに対するメリットをもっと活かしていないのかなと考えています。クラブ活動ができないほか、多くのデメリットもあるのですが、学習面については、子ども一人あたりの先生の数は小規模校の方が高くなるので、それをメリットとして活かせるような取り組みをしていただけると、「子どもが少ないことが大洲ではプラスです」と発信できるようになるわけです。すぐには難しいと思っていますが、先生方もそういう意識を持ってやっていただけるとありがたいと思っています。今年度の取り組みということではないのですが、自分の思いを述べさせていただきます。</p>
<p>西山委員</p>	<p>幼稚園の3歳児保育は本当にありがたいと思っております。近隣の市町では増えていて、転勤してきたら大洲には無かったという話も聞いていますので、どんどん進めていただければと思います。</p> <p>放課後児童クラブは、27年度内に6年生までを対象として実施されていくのですか。</p>
<p>篠原課長</p>	<p>市の内部でも検討いたしまして、現在11箇所のうち4箇所が定員いっぱい、もうすぐ定員という状況でございます。残りの7箇所については、早速準備ができ次第、6月にもう一度募集をいたしますが、その段階から6年生まで実施していくこととしております。残りの4箇所につきましては、場所の問題と支援員さんの配置の問題がございますので、そちらの対応を進めて、可能であれば年度内に実施していきたいと考えております。</p>
<p>清水市長</p>	<p>できれば全体にということですが、場所の問題があるのと、支援員さんの問題があるので、できるところからそういう形で進め、後追いになっても全体に実施できるようにということを考えています。</p>
<p>二宮教育長</p>	<p>子育て支援、子どもの教育というものをまちづくりの観点で、市町が競い合う時代に入っていると捉えています。先週末に全国の都市教育長の総会・研究大会があり、最後の質疑応答の中で文科省の担当補佐に対して、学童保育と放課後教室に対して意見が出ておりました。「主役は子どもである、省益を争わずに国益を考えてほしい」という観点から意見が出ていたのですが、幼保一元化の問題、子どもたちの居場所づくり、子どもの教育、子育て支援という観点で事務レベルの方でも連携をしっかりとっていただき、大洲市の子どもの将来につながる施策の展開を、大洲市がどうしていくべきかという点で、しっかりと議論を進めていただい</p>

<p>清水市長</p>	<p>て、協力していただければありがたいと思っております。</p> <p>どちらが事務を執るという議論はせずに、まずはどうすれば一緒になれるのかという議論をしていただき、一緒になる方法を決めてから、事務分掌をどうするかという議論を進めていくように是非してください。どこも非常に忙しいのは分かりますが、最終的にはその時に人員をどう配置するかということでいろいろな方法は考えていかなければならないと思います。サービスを受ける立場の人がどう考え、そのサービスを向上させるために何をすれば効率的なのかということから議論をしていただければと思いますので、ぜひ教育委員会も市長部局も両方同じようにお願いしたいと思います。</p> <p>また、中村修二さんがノーベル物理学賞を受賞し、長浜高校のチームニモが世界4位になって帰ってきました。長浜高校は今年1年生が40人ですが、小規模でもやればできるということをお中学生にも知っていただき、「自分達がんばれば世界に通用するようなものをこの地域からできるし、やれるんだ」という良い材料だと思いますので、教育の場でも教えていただければと思います。</p>
<p>叶本委員長</p>	<p>19年に子ども議会を実施しておりましたが、それから統廃合があったため、落ち着いてからと考えていましたが、そろそろ実施しても良いのではないかと考えております。</p>
<p>清水市長</p>	<p>また、その点も検討してまいりたいと思います。</p>
<p>東山委員</p>	<p>11ページに小中学校の負担の軽減ということがあり、これは大事なことだと思います。大阪で不審者侵入の事件があった際に学校の対応を迫られ、学校の先生の仕事も増えてきました。不審者対策として一番早いのは誰も入れないように各学校の塀を高くすることであり、ガードマンを1人ずつ各学校に配置するというのも1つの方法だと思います。いろいろなことが山積みになって先生達にゆとりがなくなっていると感じており、経費の問題もありますが、そういう方法も考えていただくと、子どももゆとりもできる、教育もゆとりができる、みんながばたばたしなくなるような気がします。</p>
<p>清水市長</p>	<p>私自身が横から見ていて、教員の方は大変忙しいと思います。様々な負担があり、休みの日もいろいろな会があったり、負担軽減をどうするのか考えていく必要があります。それから、都会では部外者は絶対に学校に入れませんが、この地域には文化財が学校の中にあったりする</p>

ので、そういうものをどうするのかということも考えていかなければなりません。この地域では子どもたちは必ず挨拶をしてくれますし、いろいろな人が知り合いになり、ルールさえ決めておけばみんながチェックをしてくれます。空き巣が多かった東京のある所でみんなが声をかけて挨拶するようになり、下見に来た人が挨拶されるとあきらめて帰るため、空き巣が減ったという事例もあります。一律にいろいろな人を排除するのではなく、良い形で開放できるようなことを考えられる地域は今少なくなっていますが、大洲はできるかもしれないと思っております。もちろんリスクもあるので学校だけに任すのではなく、地域や周辺の方と一緒にあってあり方を議論していただいたほうが良いのではないかと思います。

学校の中にある文化的なものについても外から来た方に休みだから見れませんというのはかわいそうという思いもあるので、そういうことも是非一緒になって考えていただければありがたいと思っております。

教職員の方の負担は、どこまで様々なことに対応していくのかという問題もございますので、上手く対応方法を見つけることが必要です。個人が対応すれば大変な場合もあると思いますので、市におけるノウハウや対応方法などを踏まえて議論していただき、どんな体制で市長部局でもサポートができるのか考えていければと思っております。

二宮教育長

新谷小のように敷地内に文化財がある場合や栗津小のように敷地内の赤道がお墓参りをされる住民の通り道となっている状況もあります。

神戸市において完全に施錠がされ、外界と遮断された学校を視察したこともあります。大洲市の場合、できれば地域とともに学校をどう作るかという観点で、人は石垣、人は城ではないですが、地域の住民の皆さんに守っていただけるような学校のあり方を考えなければならぬと思っております。

学校の若手の校長先生や教育行政の経験者で組織している学校の教育力向上推進委員会において、非常に疲弊しているという教諭の状況から、学校行事、学校、地域との連携のあり方などについて忌憚りの無い意見を出してもらい、方向性の検討をお願いしているところです。

1つの方向性が出れば、時期を見てこの会議でも報告し、市長部局との連携をどういう形で図れるのか協議をさせていただきたいと思っております。

清水市長

働きすぎますと、やる気、能力、効率、様々なものが確実に低下します。その中で、あれをやれ、これをやれと言われると非常に大変なことになりますので、週1日は必ずリフレッシュできるようにしてあげるな

	<p>ど何かを考えていかないと、精神的な問題も生じると思います。結局、効率化にはならないと思いますので、教職員の方は子どものことをずっと考えるのではなく、リフレッシュするときにはリフレッシュするという認識の中で取り組んでいただければと思います。</p>
清水市長	<p>(5) その他 その他ご発言、ご意見があれば、お受けしたいと思います。 [意見なし]</p>
清水市長	<p>それでは、意見も出たようでございますので、議事を終了させていただきます。</p>
	4 教育委員長あいさつ
	5 閉会